

活動名	地域ぐるみで取り組む、高齢者のSOSに届く見守りネットワーク
要旨	介護・医療・福祉関連の機関が中心となり、高齢者が安心して暮らせる地域を目指し、地域密着の百貨店などと共に高齢者見守りネットワークを発足。見守り活動としてセミナー開催、キーホルダー登録システム導入、レストラン事業を展開している。
応募者	おおた高齢者見守りネットワーク 澤登 久雄
連絡先	〒143-0016 東京都大田区大森北1-33-9 地域包括支援センター入新井 内

概要

活動内容

・「おおた高齢者見守りネットワーク」発足の経緯と活動目的

「おおた高齢者見守りネットワーク」(愛称みま～も)は、平成20年1月、大田区地域包括支援センター(以下さわやかサポートとする)入新井・さわやかサポート大森医師会・さわやかサポート徳持を拠点とした地域において、介護福祉関連事業者、医療機関、地域密着の百貨店・レジャー施設などが参加し、大田区、社会福祉協議会、医師会、歯科医師会の後援のもと「大田北高齢者見守りネットワークをつくる会」として発足、地域の全ての人たちによる見守り、支えあいにより、高齢者が安心して暮らし続けられる地域づくりを目指し活動を始めるに至った。その後新たに、六郷地区の2つのさわやかサポートエリアが加わり、活動地域が拡大したため、名称を「おおた高齢者見守りネットワーク」に変更している。

・主な取り組み

1. 地域づくりセミナー

毎月第三土曜日、ダイシン百貨店にて、「地域づくりセミナー」を開催している。地域づくりセミナーは、地域住民が、地域の医療・福祉の専門家や、警察・消防などより、地域全体での見守りの重要性について、また「気づき」の視点について学ぶことを最大の目的としている。

参加者は半数以上が高齢者で、参加者からの感想としては、「とても良かった」、「良かった」という答えが74.2%となっており、リピーター率が高いことから、参加者の満足度は推測できる。

2. SOS みま～もキーホルダー登録システム

SOS みま～もキーホルダーは、事前にさわやかサポートに情報を登録し、個人番号の入ったキーホルダーを携帯することで、もしも高齢者が外出先で突然倒れ、救急搬送された場合や認知症の方の徘徊などの際、迅速に、対応できるようにするためのものである。平成21年8月1日から、見守りネットワークにかかわる地域周辺の6箇所のさわやかサポートでスタートし、現在まで登録者数は450名を超える。

3. みま～もレストラン

「地域の皆さんが、気軽に楽しく集うことができる場(コミュニティー)をつくりたい」という思いで、協賛事業者である有料老人ホーム「NRE大森弥生ハイツ」を会場として、本年度より開店させたのが、「みま～もレストラン」である。毎月1回、美容セミナー、調理実習、絵手紙教室などの体験講座と食事をセットにして提供している。

これまで6回の開催を経て、参加者は皆顔見知りになり、自然と会話も弾んでいる。参加者の中には、認知症の方も数名いるが、スタッフのサポートもあり、他の参加者と共に笑顔で楽しく過ごしている。また、開店日以外でも、施設に立ち寄り、映画を観たり音楽会に参加されたりと、施設の入所者とそこを訪れる高齢者との交流も生まれている。

4. 認知症サポーター養成講座

これまでに、ダイシン百貨店、銀行、小学校などで認知症サポーター養成講座を開催している。

5. ソーシャルネットワーキングサービス(SNS)「おおたケアカフェ」

各専門職の情報交換及び交流の場、気楽に相談できる場として、ソーシャルネットワーキングサービス(SNS)「おおたケアカフェ」を開設した。現在までに登録者数は100名を超える。

活動の成果と今後の展望

初年度であった平成20年度は、まず当会を、行政、自治会、町会、民生委員、各種関連機関、そして地域住民に知ってもらい、協働していくための基盤づくりに力を注いできた。毎月の地域づくりセミナーを中心とした活動、そして日々の広報活動もあり、着実に「みま～も」という名前が地域に根付いていった事は、関わっているすべての者が実感しているところである。

2年目を迎えた今年度は、昨年1年間積み重ねてきた実績をもとに新たな事業をスタートし、「地域の全ての人による高齢者の見守り、支え合い」を、具体的な形にしている。

私たちの考える「地域での支え合い」とは、「家族や住民同士の見守り、支え合いに、専門機関が適当な時期に、適切な関わりをもつことにより初めて実現するもの」である。その実現には、住民と地域の専門機関は介護が必要となる以前から、お互いの存在を知り、情報を交換し、顔の見える関係を気づいておくことが重要であると考え活動している。

イメージキャラクター
「みま～もくん」



大田区福祉部長とみま～もメンバー



運営会議の様子



地域づくりセミナーの様子



地域づくりセミナー開催予定
下記の日程で地域づくりセミナーを開催します。高齢者を見守り、異業に気づく視点を専門員から学びましょう。

日付	テーマ	講師
平成20年4月19日(土)	お笑いライブ・健康チェック・介護体験・介護サービス案内等	イベント開催
平成20年6月17日(土)	高齢者を守り支えるネットワーク構築しよう！！	おたけがサポート・久根野センター長 藤野 良雄
平成20年6月24日(土)	認知症になっても安心できる！！	こどもちかきクリニック院長 工藤 千代成樹
平成20年7月19日(土)	高齢者の緊急援助について！！	大森消防署 救急隊隊長佐藤 隆 昭
平成20年8月18日(土)	お笑いライブ・健康チェック・介護体験・介護サービス案内等	イベント開催
平成20年9月20日(土)	高齢者福祉にどうかかっています！！	高齢生活センター・高齢相談窓口長 長野 洋
平成20年10月18日(土)	区民の安全を守る！！	大森警察署 生活安全課 副課長 大森 隆
平成20年11月19日(土)	高齢者の権利を守ろう！！	大田区社会福祉協議会 社会福祉事業部 中村 一孝
平成20年12月20日(土)	いざというときの旅慣れ！！	旅行ハネッセスタイルクラブ 旅行サービス事業部長 船井 雅夫
平成21年1月17日(土)	上手に介護保険を利用しよう！！	認知介護サービスセンター 理事長 北原 美穂子
平成21年2月21日(土)	介護者を支える関係構築！！	Quare（クアール） 代表取締役 佐藤 良雄子
平成21年3月21日(土)	大田区民でよかった喜び！！	大田区高齢者福祉センター 副センター長 船井一徳

場所：デザイン百貨店6階 催し会場
日時：毎月第3土曜日（4月19日、8月18日、イベント6回限りです）
・介護サービス事業所による展示や体験 11:00～16:00
・講 演 14:00～16:00

地域づくりセミナー開催予定
下記の日程で地域づくりセミナーを開催します。高齢者を見守り、異業に気づく視点を専門員から学びましょう。

日付	テーマ	講 師
平成21年5月	住んで良かったと思える大田区！！	大田区健康福祉部長 中山 良雄
平成21年6月	高齢者の安心とは？	地域福祉委員 認知介護サポートセンター 山本 美穂子
平成21年7月	介護保険を支える職人たち	地域福祉支援センター 理事 入道 田中 浩介
平成21年9月	健康は自分から！！	大森消防署 救急隊隊長 佐藤 隆 昭
平成21年10月	高齢者の権利保護について	大森警察署
平成21年11月	消費を減らすにはどうすればいい！！	大森警察署
平成21年12月	いざというときの旅慣れ	社会福祉士 中村 一孝
平成22年1月	いざというときの旅慣れの喜び	旅行ハネッセスタイルクラブ 船井 雅夫

会場：デザイン百貨店3階 山王倶楽部
日時：毎月第3土曜日 14:00～16:00

特別地域づくりセミナー
地域で「認知症」を支えよう！
会場：エセオおた 大ホール
日時：平成22年2月27日（土）14:00～16:00

SOSみま～もキーホルダー



みま～もレストランの様子



地域の紹介

私たち「おおた高齢者見守りネットワーク」は、東京都大田区にある、介護・医療・福祉関連の機関が中心になり活動している。

大田区の面積は、59.46 平方キロメートルで23区内最大である。南部は、住宅や工場が密集する商業・工業地域を形成し、京浜工業地帯の一部となっている一方、西部は田園調布、雪谷、久が原など比較的緑の多い住宅地、北部は高層マンションやショッピングセンターがあり、他区から移り住んで来た人も多い。また、臨海部は埋め立て地からなっており、羽田空港をはじめトラックターミナルやコンテナふ頭、市場など物流施設のほか、工場団地、野鳥公園など都市機能施設が整備されているなど、地域により多様な土地柄を見ることが出来る。

人口は 694,000 人で23区中3番目に多い。大田区の人口は増加傾向にあり、世帯数はさらに急増傾向にあるが、世帯当たりの人員は縮小傾向にある。これは「夫婦と子供世帯」の大家族世帯が減少し、「単身世帯」や「夫婦のみの2人世帯」が増加していることを示している。大田区高齢福祉課の予想では、2013 年度(平成 25 年度)には区域の5人に1人が65歳以上の高齢者となる。

大田区は、「おおた未来プラン10年」の中で高齢者に対する取り組みとして以下のように示している。

個別目標1 - 3:「高齢者が住み慣れた地域で、安心して暮らせるまちをつくります」

- ・ 施策1 高齢者がいきいきと暮らせるまちをつくります
- ・ 施策2 高齢者が安心できる暮らしを支えます
- ・ 施策3 いざというときに高齢者を支える体制をつくります

大田区内には、介護保険関連他福祉サービス事業者、医療機関、地域活動に取り組んでいる団体やNPO等が数多くあり、高齢者の生活を支えている。

介護保険指定事業者数(平成21年9月1日現在)

居宅介護支援事業者数	139	地域密着型サービス事業者数	45
居宅サービス事業者数	381	施設サービス事業者数	21

活動内容

「おおた高齢者見守りネットワーク」発足の経緯について

「おおた高齢者見守りネットワーク」(愛称みま～も)は、平成20年1月、大田区地域包括支援センター(以下さわやかサポートとする)入新井・さわやかサポート大森医師会・さわやかサポート徳持を拠点とした地域において、介護福祉関連事業者、医療機関、地域密着の百貨店・レジャー施設などが参加し、大田区、社会福祉協議会、医師会、歯科医師会の後援のもと「大田北高齢者見守りネットワークをつくる会」として発足、地域の全ての人たちによる見守り、支えあいにより、高齢者が安心して暮らし続けられる地域づくりを目指し活動を始めるに至った。その後新たに、六郷地区の2つのさわやかサポートエリアが加わり、活動地域が拡大したため、名称を「おおた高齢者見守りネットワーク」に変更した。イメージキャラクターの「みま～もくん」は、皆に親しまれており、広報活動には欠かせない存在である。



「おおた高齢者見守りネットワーク」の活動目的

活動目的は以下の通りである。

- ・ 私たちは高齢者が安心して暮らせる地域づくりを目指します。
 - ・ 高齢者が安心して暮らせる地域とは、住民・商店街・自治会・各種機関等が有機的に連携し、高齢者の変化にいち早く「気づく」ことができ、その後の「見守り」につなげていくことが出来る街づくりです。
 - ・ 私たちは、高齢者見守りネットワークの活動を通して、地域活性化に寄与します。
- 当会は、地域で暮らす全ての人が、高齢になっても、介護が必要になっても、認知症になっても、安心して暮らし続けられるためにはどうしたらよいかを、地域の皆さんと共に考え活動している。

「おおた高齢者見守りネットワーク」参画機関紹介

1. さわやかサポート

高齢者が住みなれた地域で暮らし続けるために、地域包括支援センターの果たすべき役割は大きい。

大田区には、「さわやかサポート」の名称で20法人が区の委託を受け運営している。そのうち現時点で当会に参画しているのは、大森地区の3包括、六郷地区の2包括である。

さわやかサポートは、行政との連絡調整・協力依頼、町会・自治会等との連携、消防・警察等との連携などに於いて重要な役割を担っている。

2. 医療機関

牧田総合病院、大森山王病院が協賛として参加している。また、大森医師会、大森歯科医師会には、後援として様々な場面で協力頂いている。また、地域づくりセミナーの講師や、SOSみま～もキーホルダーに関しては、協賛医療機関にとどまらず、区内の多くの医療機関が医療ソーシャルワーカーを中心に、協力して下さっている。

3. ダイシン百貨店

大森駅から徒歩5分の所に、昭和23年の創業のダイシン百貨店がある。「住んで良かった街づくり」をテーマに、健康生活支援サービスや商品の宅配サービスなど、地域に密着した事業を展開し、「大森でダイシンを知らない人はいない」と言われるほどである。その他、『認知症サポーター養成講座』を、全社員が受講するなど、地域に目を向けた活動を展開している。当会に於いては、毎月の地域づくりセミナーの会場提供、その他多岐にわたり大きな役割を果たしている。

4. 介護福祉関連事業所

現在、介護福祉関連の15事業所(在宅サービス、施設サービス、地域のNPO)が協賛として、月定例の運営会議、各取り組みに参加し会運営を担っている。

主な取り組み

1. 地域づくりセミナー

毎月第三土曜日、ダイシン百貨店にて、「地域づくりセミナー」を開催している。

地域づくりセミナーは、地域住民が、地域の医療・福祉の専門家や、警察・消防などより、地域全体での見守りの重要性について、また「気づき」の視点について学ぶことを最大の目的としている。

昨年度の参加者は月平均 66.6 名、アンケート集計で見ると、参加者の年齢分布は 70 歳代、及び 80 歳代で 63.1% を占め、年齢的には見守られる立場の方々も、「互いに見守る」という意識の高さや、学習意欲の高さを感じられる。参加者からの感想としては、「とても良かった」、「良かった」という答えが 74.2% となっている。リピーター率が高いことから、満足度は推測できる。

また、地域づくりセミナーの効果として、住民と地域の専門職とが、「顔の見える関係」を築くことができ、元気なうちからさわやかサポートや専門職の存在を知っておくことで、いざという時相談しやすい環境をつくる事にも繋がっている。

地域づくりセミナーの様子



地域づくりセミナー開催予定
下記の日程で地域づくりセミナーを開催します。高齢者を
見守り、異変に気づく視点を専門家から学びましょう。

日付	テーマ	講師
平成20年4月18日 (土)	お話しライブ 介護サービス・介護 体験・介護サービス案内	イベント開催
平成20年6月17日 (土)	地域で高齢者虐待防止の 実践しよう！！	徳島大学福祉学研究所 センター長 藤原 弘道
平成20年9月21日 (土)	認知症になっても安心できる 街！！	くまのちあさひクリニック院長 大橋 千代成子
平成20年7月19日 (土)	高齢者の緊急援助について！！	大森消防署副署長 副署長 佐藤 隆
平成20年10月18日 (土)	お話しライブ 介護サービス・介護 体験・介護サービス案内	イベント開催
平成20年9月20日 (土)	高齢者被害にどう対処しよう！！	消費者センター消費者相談員 藤野 淳
平成20年10月18日 (土)	区域の安全を守る！！	消防生活センター消費者相談員 藤野 淳
平成20年11月19日 (土)	高齢者の権利を守ろう！！	大森警察署 生活安全課 副署長 野田 真二
平成20年12月20日 (土)	いざというときの施設選び！！	新サービス株式会社 社長 佐藤 孝一
平成21年1月17日 (土)	上手に介護保険を利用しよう！！	（株）ベネッセシステム 代表取締役 佐藤 隆夫
平成21年2月21日 (土)	介護を支える関係者！！	介護サービスセンター 代表取締役 佐藤 隆夫
平成21年3月21日 (土)	大森区民でよかったらぜひ！！	（株）北見銀行新センター 副支店長 藤原 隆一

会場：ダイシン百貨店6階 催し会場
日時：毎月第3土曜日 14:00～16:00
・介護サービス事業所による展示や体験 11:00～16:00
・講演 14:00～16:00

地域づくりセミナー開催予定
下記の日程で地域づくりセミナーを開催します。高齢者を
見守り、異変に気づく視点を専門家から学びましょう。

日付	テーマ	講師
平成21年5月	信じて良かったと思える大森区に	大森区健康福祉部長 山本 浩樹
平成21年6月	数々の安心とは？	徳島県警察 生活安全課 警部 丸山 隆平
平成21年7月	介護保険を支える職人たち	地域福祉支援センター 運営 丸山 隆平
平成21年9月	健康は自分から...	大森消防署 生活安全課 副署長 佐藤 隆夫
平成21年10月	高齢者の緊急援助について	大森消防署
平成21年11月	消費者被害にどう対処しよう！！	大森警察署
平成21年12月	信じて良かったらぜひ	社会福祉士 中野 一幸
平成22年4月	いざというときの施設選び	（株）ベネッセシステム 代表 佐藤 隆夫

会場：ダイシン百貨店3階 山王倶楽部
日時：毎月第3土曜日 14:00～16:00

特別地域づくりセミナー
地域で「認知症」を支えよう！
会場：エセブおたのびホール
日時：平成22年2月27日（土）14:00～16:00

2. SOS みま～もキーホルダー登録システム

前述の地域づくりセミナーをきっかけに、地域の医療機関の医療ソーシャルワーカーと意見交換をする機会があった。その中で医療ソーシャルワーカーより、「外出先で突然倒れ救急搬送されてきても、身分を証明するものを何も持っていない。身元を特定するものを探すために、荷物を隅々まで探すような事が珍しくない。」という話があった。これがきっかけで生まれたのが、「SOS みま～もキーホルダー登録システム」（以下 SOS みま～もキーホルダーとする）である。

SOS みま～もキーホルダーは、事前にさわやかサポートに情報を登録し、個人番号の入ったキーホルダーを携帯することで、もしも高齢者が外出先で突然倒れ、救急搬送された場合など、迅速に、住所・氏名等の確認が行えるようにするためのものである。また、認知症の方の徘徊などで、保護された場合にも同様に役立つものである。キーホルダーが目印になり、搬送先医療機関や警察などが、さわやかサポートへ連絡し、対象者の登録状況を確認することができる。また一般の方からの連絡に対してもさわやかサポートが対応することができる。

平成21年6月の地域づくりセミナーで、原案を提示し、参加者の意見も取り入れることで、対象者が本当の意味で利用したいと思えるシステムを目指した。そして、医療機関、警察、消防、行政など関連機関との調整を経て、平成21年8月1日から、見守りネットワークに関わる地域周辺の6箇所のさわやかサポートでスタートすることが出来た。現在まで登録者数は450名を超える。

システムの開始にあたっては、地域づくりセミナーでの通知や、民生委員の方々の協力により、独り暮らしの高齢者宅へ個別訪問によるご案内(合計約600件)、町会や自治会での通知、ケアマネージャーを初め、サービス事業者の方々の利用者への情報提供、区報への掲載等、各方面の皆様の理解と協力により、多くの高齢者に、このシステムを知って頂くことが出来た。また、意外にも「高齢者同士の口コミ」で登録に来られた方も相当数いる。「先に登録してきた友人に勧められて」や

またこれまでに、実際にキーホルダーを見ての通報は2件。どちらも、認知症があり自宅に帰ることができなくなっていた高齢者を、通りがかりの方が保護し、杖に付けていたキーホルダーを見て、さわやかサポートに連絡して下さったものだった。まさに、地域全体での見守り、そして、住民と専門職との連携が実現できた結果だと言えよう。

(裏)

SOSみま～もキーホルダー

(表)



S O S み ま ～ も キ ー ホ ル ダ ー 案 内 ・ 申 込 書

おたの高齢者見守りネットワーク事業
SOSみま～もキーホルダー登録システムについて
 大森地域福祉館内にお住まいの65歳以上の方が対象になります。

SOSみま～もキーホルダー登録システムは、あなたがもし、外出先で突然倒れ、救急搬送された場合など、迅速に、住所・氏名等の確認が行えるようにするためのものです。また、認知症の方の徘徊などで、警察に保護された場合にも同時に役立つものです。キーホルダーが目印になり、搬送先病院や警察などが、さわかサポートへ連絡し、あなたの登録状況を確認することができます。

★ 注意・確認事項 ★

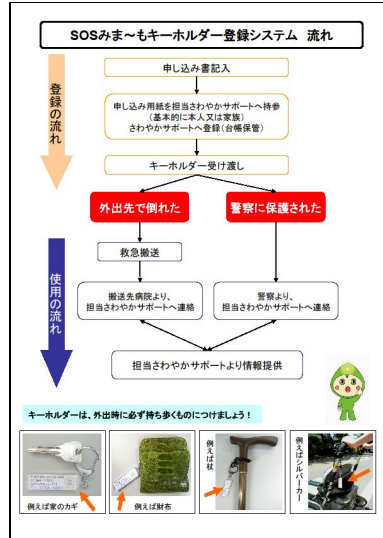
- 【申込用紙の記入・取り扱いについて】
- 登録情報は担当さわやかサポートにおいて受付及び管理します。
- 申し込み者は基本的にご本人又はご家族とします。
- 情報に変更が生じた場合は、早急にさわやかサポートへご連絡下さい。
- 緊急連絡先に記入された方には、事前に登録について同意を得てお下さい。
- 【キーホルダーの使用について】
- キーホルダーは必ず外出の際は携帯して下さい。
- キーホルダーを紛失・破損した場合は、早急にさわやかサポートにご連絡下さい。
- 【個人情報について】
- さわやかサポートが必要と判断した場合、登録情報を搬送先病院、又は警察等、必要機関へ提供します。

（表） （裏）

担当さわやかサポートの連絡先が記載されています。

本人を確認するための番号（登録番号）が記載されています。

・新特別出張所管内にお住まいの方 さわかサポート入館 3762-4689
 ・新特別出張所管内にお住まいの方 さわかサポート大森駅前 3772-2415
 ・高上特別出張所管内にお住まいの方 さわかサポート豊待 5749-7202
 ・東品川特別出張所管内にお住まいの方 さわかサポート品川 5709-8011
 ・大森町1丁目にお住まいの方 さわかサポート大森 5753-6331
 ・大森町1丁目～5丁目にお住まいの方 さわかサポート大森 5753-6331
 ・大森町1丁目～5丁目にお住まいの方 さわかサポート大森 5753-6331
 ・大森町1丁目～5丁目にお住まいの方 さわかサポート大森 5753-6331



SOSみま～もキーホルダー登録システム申込書

記入日 年 月 日

氏名(フリガナ)	
ご住所	
電話番号	
生年月日	明治・大正・昭和 年 月 日
緊急連絡先①	氏名 続柄() 電話番号:① ② 住所:
緊急連絡先②	氏名 続柄() 電話番号:① ② 住所:
かかりつけ 医療機関	電話番号: 主治医名 科 医師名
病歴	
内服薬	
アレルギーの有無	無・有(内容)
認知症	無・有 徘徊(有・無) その他症状()
介護保険認定 措置の種類	無・有() 無・有 専業所名: 氏名: 電話番号: 氏名: 電話番号:
情報提供同意書	登録情報は、本システムを目的に限定し、担当さわやかサポートによって必要と判断された場合に、おたのへ提供されることとなります。 (本人が同意できない場合は、本人の了解を得て家族が本人を看顧する際の上、代筆者も本人記入してください) 本人署名 代筆者氏名 (印刷)

(ここからは、さわやかサポートが記入します。)

登録番号	キーホルダー受け渡し	台帳登録
------	------------	------

3. みま～もレストラン

「地域の皆さんが、気軽に楽しく集うことができる場(コミュニティ)をつくりたい」という思いで、協賛事業者である有料老人ホーム「NRE大森弥生ハイツ」を会場として、本年度より開店させたのが、「みま～もレストラン」である。毎月1回、美容セミナー、調理実習、絵手紙教室などの体験講座と食事をセットにして提供。参加費は、食事代、送迎代、材料費を含めて、1回2000円だが、毎回高齢者20数名の参加がある。

これまで6回の開催を経て、参加者は皆顔見知りになり、参加者同士の会話も弾んでいる。中には、認知症の方も数名いるが、スタッフのサポートもあり、他の参加者と共に笑顔で楽しく過ごしている。また、開店日以外でも、施設に立ち寄り、映画を観たり音楽会に参加されたりと、施設の入所者とそこを訪れる高齢者との交流も生まれている。

みま～もレストランの様子



4. 認知症サポーター養成講座

これまでに、ダイシン百貨店、銀行、小学校などで認知症サポーター養成講座を開催している。

小学校での認知症サポーター養成講座の様子(高齢者疑似体験、ロールプレイング)



5. ソーシャルネットワーキングサービス(SNS)「おおたケアカフェ」

当会にはもう一つ、「医療、福祉などの各専門職(従事者)間の横の連携をつくる。そして、働きがいをを持って、仕事ができる地域にする。」という目的がある。専門職の連携、やりがいは地域連携に不可欠だからだ。そこで各専門職の情報交換及び交流の場、気楽に相談できる場として、ソーシャルネットワーキングサービス(SNS)「おおたケアカフェ」を開設した。現在までに登録者数は100名を超える。



活動の成果と今後の展望

平成20年1月に発足、4月より本格的な活動を開始し1年半が経過した。

初年度であった平成20年度は、まず当会を、行政、自治会、町会、民生委員、各種関連機関、そして地域住民に知ってもらい、協働していくための基盤づくりに力を注いできた。毎月の地域づくりセミナーを中心とした活動、そして日々の広報活動もあり、着実に「みま～も」という名前が地域に根付いていった事は、関わっているすべてのスタッフが実感しているところである。

また、この間、東京都内をはじめとする、全国の自治体や地域包括支援センター、地域活動をしている団体などとの交流、意見交換する機会も幾度となくあった。私たち自身、この活動がなければ実現しなかった、出会いや経験をすることが出来、大きな財産となっている。

2年目を迎えた今年度は、昨年1年間積み重ねてきた実績と、また、独立行政法人福祉医療機構の助成を受けられた事もあり、「SOSみま～もキーホルダー」や「みま～もレストラン」といった新たな事業で、「地域の全ての人による高齢者の見守り、支え合い」を、具体的な形としてスタートさせる事が出来た。

特にSOSキーホルダーは「元気なうちから備えておける安心」として、地域の多くの高齢者に受け入れられ、また医療機関や警察などにとっても有意義なものになった。そして、地域ネットワーク形成の中心としての役割を持つ、さわやかサポートにとっては、高齢者の把握が早期から可能になったと同時に、高齢者へのさわやかサポートの周知がされ、専門職の介入が必要となった場合のスムーズな導入に、今後繋がっていくだろう。

また、「みま～もレストラン」では、参加者が自主的に、全員分の箸置きを作ってきてくれたり、出し物を企画したり、事前準備から協力して下さったりと、単なるお客様でなく、スタッフと共に「みま～もレストラン」を運営している一体感が生まれている。ここでつくられた繋がりの輪が広がり、地域で高齢者を見守る担い手となってくれることも期待している。

この活動を始めてみて、地域には認知症に限らず、高齢者を見守ってくれている人が、沢山存在することに気づかされた。それは町会や老人会であったり、マンションの管理人であったり、友人や隣人であったりと様々だ。都会には「お互い様」や「近所づきあい」が薄れていると言われるが、その様な人達は当然の様に、ごく自然に高齢者を見守り、支えている。しかし、急激に進む高齢化の中、全国的に「地域での支え合い」の重要性が地域課題として上がっている。本来の意味での「地域で

切な関わりをもつことにより初めて実現するもの」だと考えている。それを実現するためには、住民と地域の専門機関は介護が必要となる以前から、お互いの存在を知り、情報を交換し、顔の見える関係を気づいておくことが重要であるとする。私達の活動は全てこの考えに基づいて行われており、これこそが、活動の目的とするところである。

「おおた高齢者見守りネットワーク」の活動地域は、今のところ大田区内でもごく一部に限られている。だが今回六郷地区で活動を開始したように、今後は大田区全域を網羅できる取り組みになっていく事を目指している。だが、この間我々が行ってきた方法を、又は他地域で成功した事例を、そのまま実践したとしても、上手くいくものではない。この取り組みは、やはり地域特性に合致したものでなければ地域には受け入れられない。当会がこの間積み重ねてきた経験をもとに、各地域で地域特性を踏まえた、その地域ならではの「みま～も」が根付いていけるよう、会としても尽力していきたい。

運営会議の様子



大田区福祉部長とみま～もメンバー

